

事務事業名	だんだんタクシー運行事業	所属部	政策企画部	所属課	地域振興課	
総合計画体系	政策名	(Ⅱ)安全・安心で快適なまち<<定住環境>>	所属G	地域振興グループ	課長名	西村 健一
	施策名	(14)公共交通ネットワークの充実	担当者名	野々村 達志	電話番号	0854-40-1013 (内線) 2312
	目的:対象	公共交通機関利用者 意図 市内及び市外に向けて安全・便利に移動できる。	予算科目	会計 011002 款 11002 目 7505 中事業名 057505 中事業名	大事業名	公共交通対策事業
	目的:対象	公共交通機関利用者 意図 利用者に配慮された多様な交通サービスを利用する。			中事業名	だんだんタクシー事業

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16年度~)
② 事業内容	(期間限定複数年度事業は全体像を記述) 雲南市掛合町内において交通手段を持たない住民に対する移動手段の確保を図り、もって住民の福祉及び利便の向上に資することを目的とし、だんだんタクシー事業に必要な事業用自動車の運行を一般乗用旅客自動車輸送事業者(道路運送法4条許可)に依頼して行う事業。 平成27年4月より大東町春殖・幡屋線、阿用・久野線、三刀屋町飯石・中野線のデマンド型乗合タクシーをだんだんタクシーとし、本格運行を開始。 同年10月からは大東町佐世線、三刀屋町高窪・伊萱線も本格運行を開始。

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	27年度実績(27年度に行った主な活動) 【大東町】:4路線 平日4便運行 春殖幡屋線・佐世線(H27・10から)・阿用久野線・海潮線 【三刀屋町】:3路線 平日4便運行 鍋山線・飯石中野線・高窪伊萱線(H27・10から) 【掛合町】 北部線・南部線(ドア・トゥ・ドア)、通常ダイヤ:平日5.5便、冬期ダイヤ:平日4便運行。直行便は平日1便、	28年度計画(28年度に計画する主な活動) 左記に加え、平成28年4月から、大東町塩田線(平日4便運行)の本格運行を開始予定			
	② 活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
ア	路線数	路線	3	5	10	11
イ	運行便数	便	6	13	30	34
ウ	運行日数	日	244	245	244	243
エ						

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)	
	市民	ア	人口	人	40,055	39,472	38,990	38,968
		イ						
		ウ						
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)		
大東町、三刀屋町、掛合町エリアでの利便性の高い移動手段を提供する。	ア	利用者数	人	5,461	8,232	17,861	20,000	
	イ							
	ウ							

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (27年度決算)	② コストの推移	単位	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(計画)	
【だんだんタクシー事業】 ・委託料 34,709千円(運行業務及び運行管理業務)	財源内訳	国庫支出金	千円				
		県支出金	千円	0	1,505	1,857	1,857
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円	11,751	17,687	32,852	47,803
	事業費計(A)		千円	11,751	19,192	34,709	49,660
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	
		延べ業務時間	時間	250	437	437	
		人件費計(B)	千円	973	1,699	1,710	
	トータルコスト(A)+(B)		千円	12,724	20,891	36,419	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
平成18年の道路運送法等の一部改正に伴い、だんだんタクシー運行の法適用が21条から4条に変わったが運行体制に影響はない。高齢化の中、玄関から玄関まで送迎するだんだんタクシーは定時定路線に比べ利便性が高い。平成26年度大東町海潮線と三刀屋町鍋山線。平成27年度大東町春殖幡屋線、佐世線、阿用久野線、三刀屋町飯石中野線、高窪伊萱線が本格運行を開始。	1年間の実証運行後、本格運行判断基準に照らし合わせ、必要に応じて運行内容を変更し、本格運行への移行を図ってきた。	市民や議会からは市内全域への導入、エリア拡大運行について検討するよう要望を受けている。

事務事業名	だんだんタクシー運行事業	所属部	政策企画部	所属課	地域振興課
-------	--------------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性	この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？	見直し余地があるとする理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	* 余地がある場合 →
	② 公共関与の妥当性	なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？	
B 有効性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	* 余地がある場合 →
	③ 対象・意図の妥当性	対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	* 余地がある場合 →
C 効率性	④ 成果の向上余地	成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	<input type="checkbox"/> 向上余地がない	理由 だんだんタクシーの運行は、料金も安価で利便性も高い。また、運転者による乗車介助など利用者の方からは喜ばれている。しかしながら、吉田大東線との接続が悪く、広域的な移動が不便である。そのため吉田大東線との接続改善を検討する。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	理由 交通弱者の移動手段が確保できなくなるため市民生活への影響は大きい。特に高齢者においては、生活していくうえで、大きな問題となる。
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？	
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある	* ある場合 → (具体的な手段や類似事業名)	市民バス運行管理事業
	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない	理由 地域内の移動はだんだんタクシーで対応可能であるが、広域的な利用は不便であり、市民バス吉田大東線との接続改善を図っていく。
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地	成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 H20において予約受付システムを独自で構築しリースを解約、リース料及び保守料の削減を図った。運行業務委託料については1日当たりの運行単価で、運行管理委託料については、定額の月額委託料で契約し支払っているため、契約の見直し以外に事業費の削減余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？	理由 契約などの一定の事務であるため。
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 現在、だんだんタクシーは大東町・三刀屋町・掛合町の各町内のみの運行であり、料金は300円均一で、他地域バス料金は200円均一である。料金格差があるが、だんだんタクシー(ドア・トゥ・ドアによるデマンド型乗合方式)のサービス面及び利便性の高さからすると妥当である。
	① 1次評価者としての評価結果	② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
評価 の 総 括	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり
	B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり
	C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり
	D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり
旧掛合町では、他地域のバス運行とは異なるデマンド型乗合方式によるだんだんタクシーを運行し、合併後もその運行形態を引き継いでいる。その利便性の高さから利用者からは好評である。加えて、平成26年度より大東町海潮線、三刀屋町鍋山線のデマンド型乗合タクシーをだんだんタクシーと称して本格運行を開始した。			

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上	●		維持		×	低下	×	×
	コスト																		
	削減	維持	増加																
成果	向上	●																	
	維持		×																
	低下	×	×																
平成20年度策定した『雲南市地域公共交通総合連携計画』及び平成23年度に策定した『雲南市公共交通再編計画』に基づき、引き続き公共交通の活性化に向け事業展開する。																			